

令和6年度 学校園評価シート

(様式3)

学校園名

野口保育園

1 保育理念 一人一人を大切にし、自分らしさを発揮するこどもを育てる

2 基本方針

- 生活リズムを整え、健康な心と体を育む。
- 遊びを通して人と関わる喜びを感じ、信頼感を育む。
- 自然と触れ合い、感じる心や伸び伸びと表現する力を育む。
- どんなことにも挑戦する意欲を育む。

3 保育目標

- 生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う
- 集団生活を通して、人に対する愛情と信頼感を育て、自立と協働の態度を培う
- さまざまな体験を通して豊かな感性と表現力を養い、創造性の芽生えを培う
- 生命、自然及び社会の事象に対する興味や関心を育てる

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を身に付ける	○自分から進んで元気に挨拶をする。 ○健康や安全な生活の仕方を身に付ける。	B	○自分から挨拶をすることも増えてきている。職員が率先して挨拶をすることで、園全体で気持ちの良い挨拶ができるよう取り組んでいく。 ○手洗いや消毒が習慣となり、健康に過ごすことができている。安全面はこども達が安心して生活できるよう職員の意識を高めていく。
健康な体を育み、生き生きと活動する	○様々な体を使った遊びを経験し、伸び伸びと意欲をもって取り組む。 ○自分なりの目標に向かって、あきらめずに挑戦する。	A	○戸外遊びの時間を十分に設け、様々な体を動かす遊びを経験したり、こども達が自主的に遊べる環境を整えていきたい。 ○こども達の頑張りを認めスモールステップで達成感を味わえるようにしていく。
様々な人と関わる喜びを感じ、思いやりの心を育む	○友達や異年齢児と関わる中で、優しさや思いやりの心を育てる。 ○様々な人と関わり、親しみや感謝の気持ちをもつ。	B	○異年齢での交流機会が増えたことで、年下の友達を気にして優しく接する姿が見られた。 ○コロナ禍で控えていた地域との交流を行うことができた。
身近な自然や社会事象に興味や関心をもつ	○身近な自然現象に関心をもったり、小動物に触れ、親しみをもったり、命の大切さに気付いたりする。 ○野菜の栽培や収穫を経験し、様々な食材に興味や関心をもつ。	A	○園庭の自然環境を整えたり、小動物に触れたり世話をしたりする中で、命の大切さに気付くことができた。今後もこども達の気持ちに寄り添い、自然や小動物に触れる機会を大切にしていきたい。 ○季節の野菜の栽培を行う収穫の喜びを味わうことでより食材に興味や関心が広がった。
保護者との連携を図る	○家庭と協力してこどもの成長を見守っていく。 ○保護者に園の取り組みや、こども達の活動の様子を伝えていく。	B	○その日の保育活動をホワイトボードやドキュメンテーションで掲示したり、行事での取り組みをキッズリーで配信することで保護者に伝わるように努めた。今後も日々の様子や成長を伝えられるよう、職員間で連携して取り組んでいく。